

アメリカ体験 思い出のページ

第4回 海外派遣事業



川上 幸子
ホストファミリーに日本料理をご馳走。とっても喜んでくれました。会話が通じにくかったので、もう少し、英語を勉強しておけばよかったかな。



小寺 いつみ
授業で恥ずかしがってた私もだんだん積極的に。通じなかった会話もがんばって話すと楽しく話せた。「やれば出来るんだ」と自信ができました。



香山 和輝
自然の雄大さ、美しさに感動。ホストファミリーとは家族の一員として遠慮なく過ごせたが、言葉の壁を感じ、つくづく英語がわかりたいと思いました。



福井 知佳
ダウンタウンの祭りでフラフラに挑戦。うまくでき一躍有名人に。家族はとっても親切で、お父さんが作ってくれた料理の味が忘れられません。

藤原 由季
緊張をほぐしてくれたのが犬の「パプシ」。ホストファミリーはとっても親切で家族のように接してくれ、本当にいい思い出ができました。



岡本 将治
初めての飛行機、金髪、喫茶店、どれも感動の連続。ホストファミリーとの食事、釣り、トランポリンでの遊びなどの楽しい日々が一番の思い出です。

祖開 梨央
言葉が伝わらない、わからないで大変。でもジェスチャーで伝わった時は、とてもうれしかったです。いろいろ学んだことを生かし頑張っていきたいです。



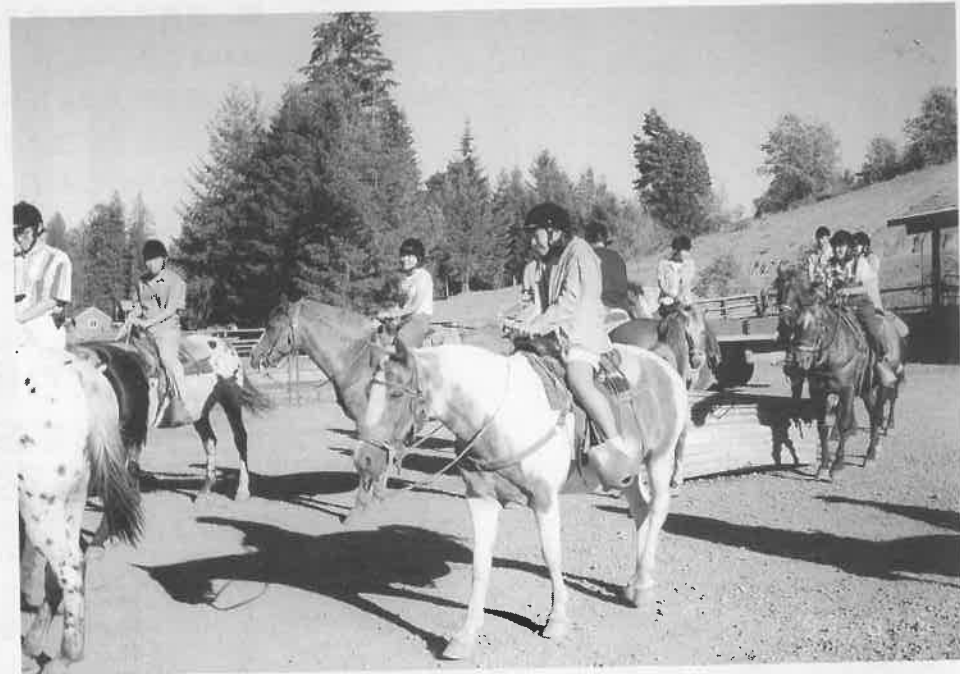
田端 樹理
「さすがアメリカ!」と思うことがしょっちゅう。犬と一緒に寝るのにはびっくりしました。へたくそな英語を親切に聞いてくれた皆さんとの思い出は、私の心から消えません。



高見 文子
大学での昼食、乗馬、買い物、枕投げ、パーティーなど、思い出は尽きません。実感しました「英語はわからなくても、心は通じているんだなあ。」



山本 真弓
発音に困り辞書は欠かせませんでした。ホストファミリーはとっても親切で、家族みんなでのゲームは楽しい思い出。私の二番目の家族に心から感謝しています。



※ケルソー・ロングビュー市の概要
米国ワシントン州の最南部に位置し、町の中央にはコロンビア川から分岐したカウリッツ川が流れています。面積は約10km四方で、上郡町とほぼ同じ。人口も約1万2千人前後で、ほとんどの家が広い芝生で囲まれゆったりとしています。
6月から9月にかけては、ほとんどの家庭にクーラーもないほどの快適でしのぎやすいシーズンとなります。人々の気質もおおらかでやさしく、治安も非常に良い、犯罪率の低いきわめて安全な地域です。

**15名の中学生
ホームステイ体験で金の思い出を...**

ワシントン州ケルソー・ロングビュー市で国際交流

今年で4回目を迎えた海外派遣事業。8月7日(木)から18日(月)の12日間、町内の15名の中学生が、アメリカ合衆国ワシントン州ケルソー・ロングビュー市で国際交流体験を行いました。

ホームステイを中心に、大学での英会話講習、買い物などの校外実習、いかだくんだりや乗馬などのレクリエーション、そして今回新たに取り入れられた老人ホームでのボランティア活動などとおして、英会話力の向上だけでなく、異文化の理解と吸収、感情の交流など、心のふれあう貴重な体験をしました。

現地で生徒を受け入れる家庭を「ホストファミリー」といい、大学で授業を受けるアメリカ人のパートナーを「アメリカカンパディ」といいます。生徒たちは、終日この家族や友達と過ごしますが、毎日が緊張と不安、驚きと喜びの連続でした。

生徒たちは、皆さんのやさしさに接し楽しい思い出を作ることができました。その生徒たちの声をご紹介します。



中村 雄
不安を理解してくれる、面白いホストのお父さん。人とのつながりを大切にするアメリカ社会に接し、人のやさしさを強く感じました。

村上 堯
毎日が楽しく、感動と発見の連続。特に日本と比べて、「失礼、ご免」の言葉が飛び交う社会には驚きでした。やさしさに包まれ不自由なく過ごせて、よかったと思います。



吉田 千紘
ホストファミリーが、パーティーへの招待やプレゼントをととても喜んでくれ、大変うれしかったです。今度アメリカに行ったら絶対に会いに行きたいです。



山本 哲也
すぐにホストファミリーに打ち解け、もう心も気分もアメリカ。いろいろ迷惑もかけましたが、一緒に過ごした思い出を生涯忘れません。

山本 智子
見知らぬ他人を温かく迎える心の広さ、自分の意見をはっきり言う、礼儀正しさにとてもびっくり。すばらしい体験をさせてくれた両親に感謝しています。

